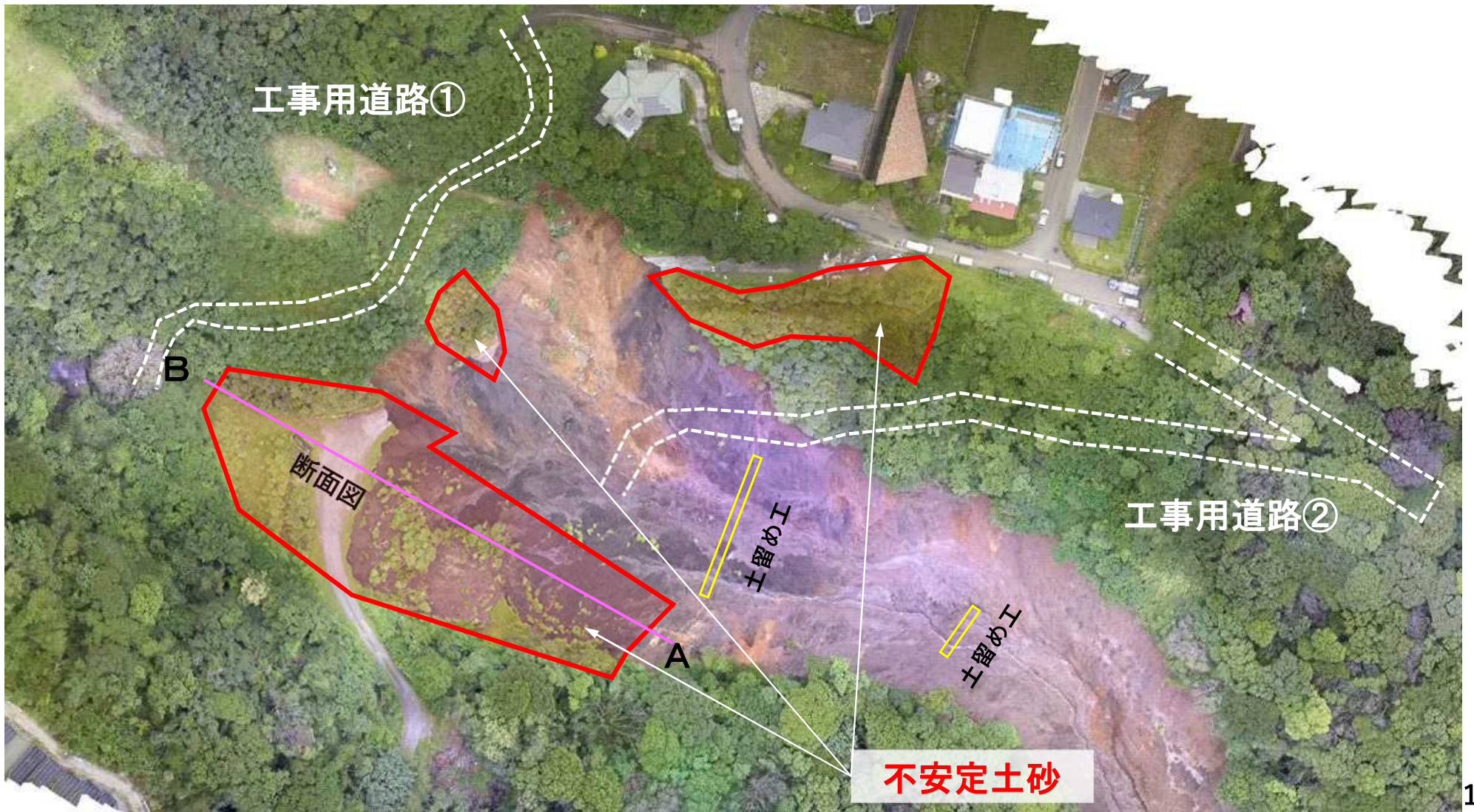


逢初川源頭部不安定土砂撤去工事（行政代執行）

施工内容：土砂（盛土）撤去・運搬 V =約 2 万 m^3 （熱海港に仮置き）、

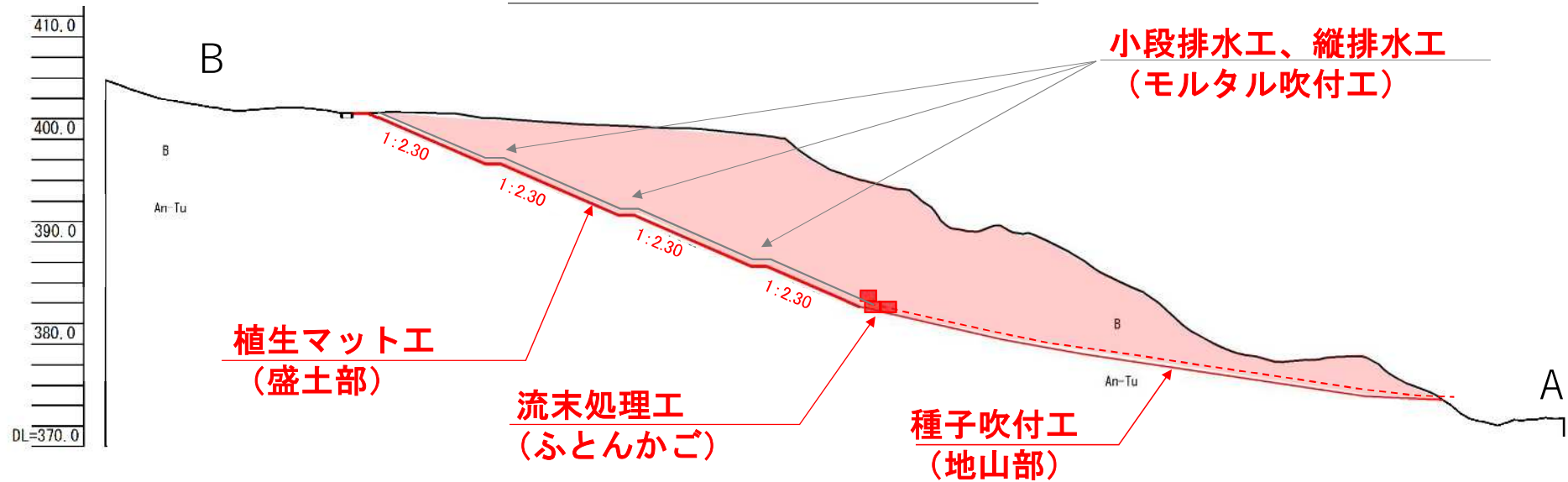
法面工（植生マット工） $A=420m^2$ （種子吹付工） $A=1,550m^2$ 、土留め工 2 箇所

施工期間：令和 4 年 10 月～令和 5 年 5 月頃（雨季前まで）



逢初川源頭部不安定土砂撤去工事（行政代執行）

土砂撤去断面図（A-B断面）



工事の進捗状況

令和4年10月：工事着手（行政代執行開始）

令和4年11月：伐採作業開始

令和5年1月：工事用道路、土留め工設置開始

令和5年2月：土砂掘削、搬出開始

逢初川源頭部不安定土砂撤去工事（行政代執行）



土留め工



掘削状況



土砂搬出状況



土砂運搬状況

逢初川源頭部における計器観測

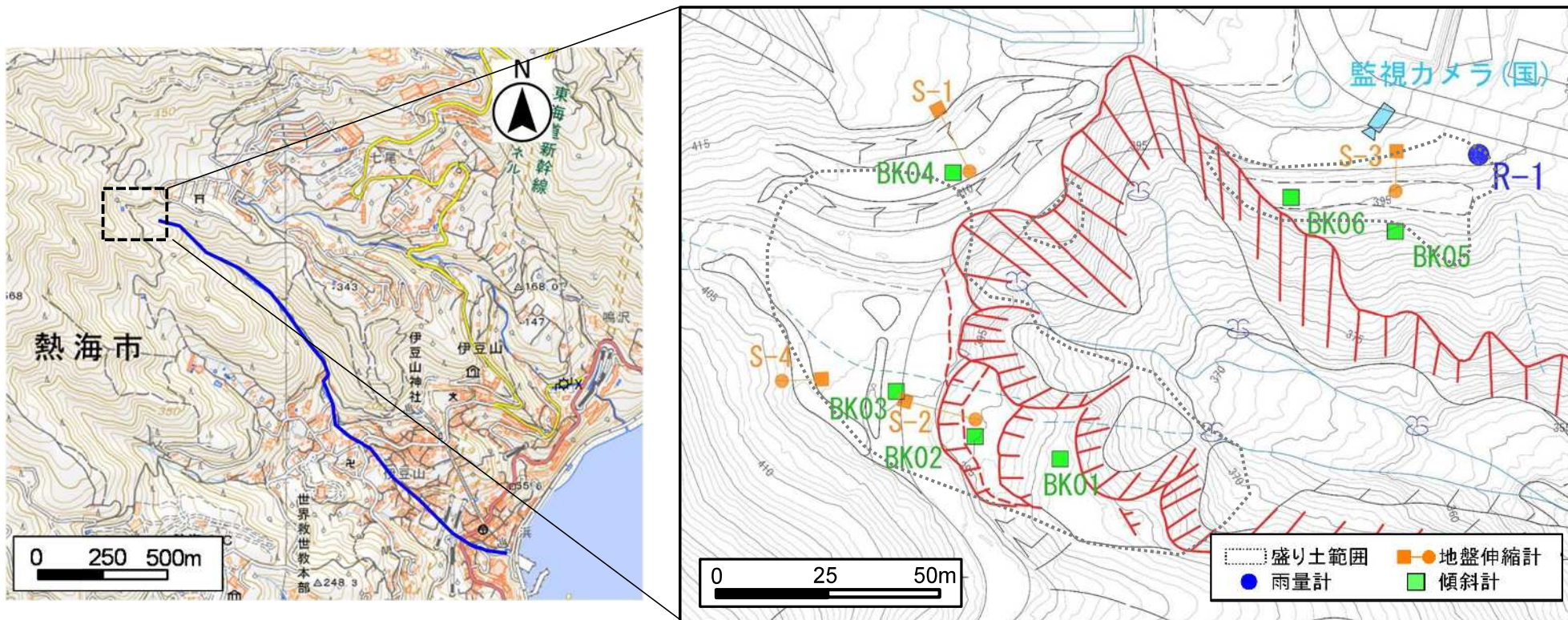
静岡県熱海土木事務所では、逢初川源頭部にある不安定土砂に対し、二次災害を防止するため、発災直後から計器観測および監視を継続して実施した（2021.7月～2022.9月の約15ヶ月）。



写真 令和3年7月源頭部崩壊地状況

- ① 雨量計 1基 (R-1) . . . 源頭部の雨量を計測
- ② 地盤伸縮計 4基 (S-1～4) . . . 地表の2点間の変位を計測
- ③ 傾斜計 6基 (BK01～06) . . . 地表面の傾斜を計測

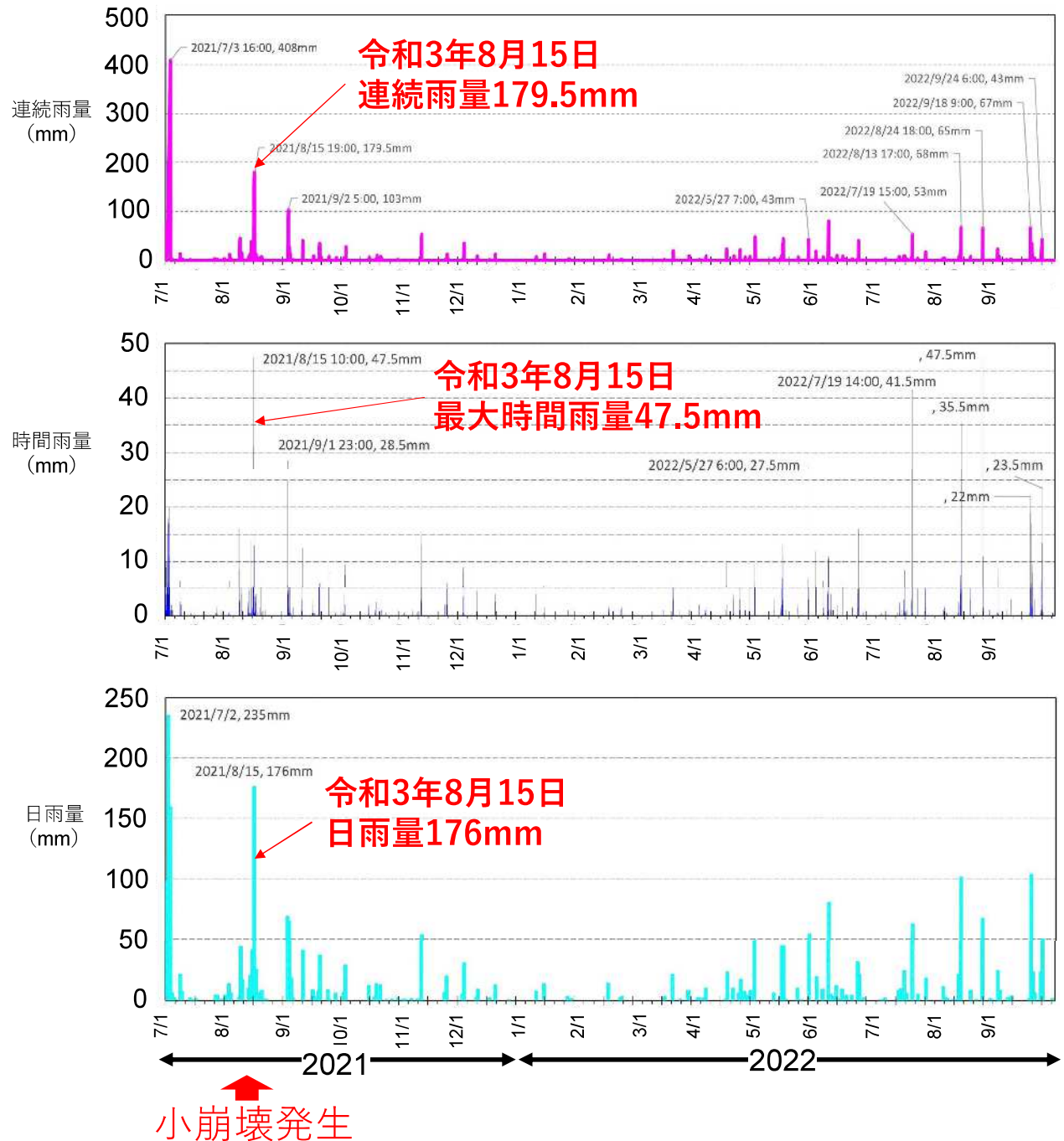
※直轄事業において、GPS (G-0～3)、傾斜計BK07～08、土石流センサー等実施



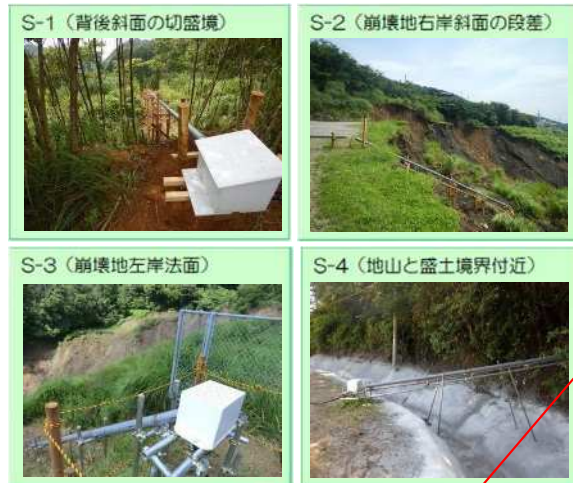
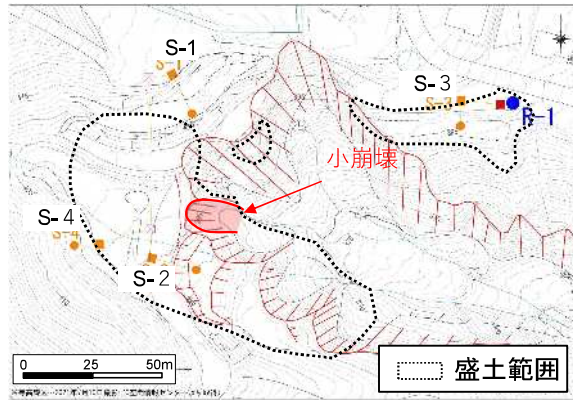
逢初川源頭部における計器観測

①雨量状況

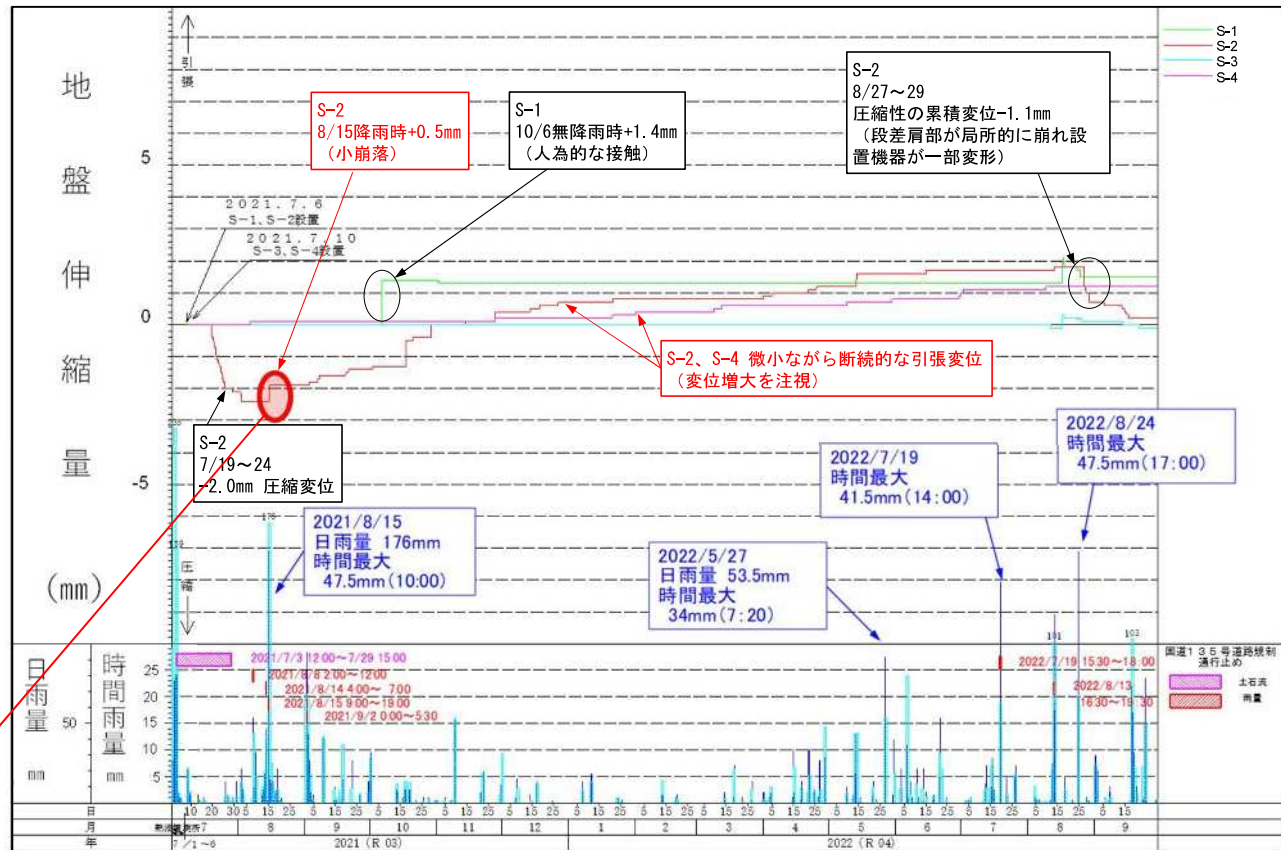
- 発災時の雨量は、令和3年7月1日 4:00～7月3日 16:00（熱海雨量観測所）において、連続雨量408mm（期間雨量449mm）を記録した。
- 発災後の雨量は、源頭部雨量計R-1の観測期間（令和3年7月～令和4年9月）において、令和3年8月15日の連続雨量179.5mm（最大時間雨量47.5mm）を記録し、この一連の降雨で右岸側の一部土塊が小崩壊した（次頁参照）。



②地盤伸縮計の変動状況

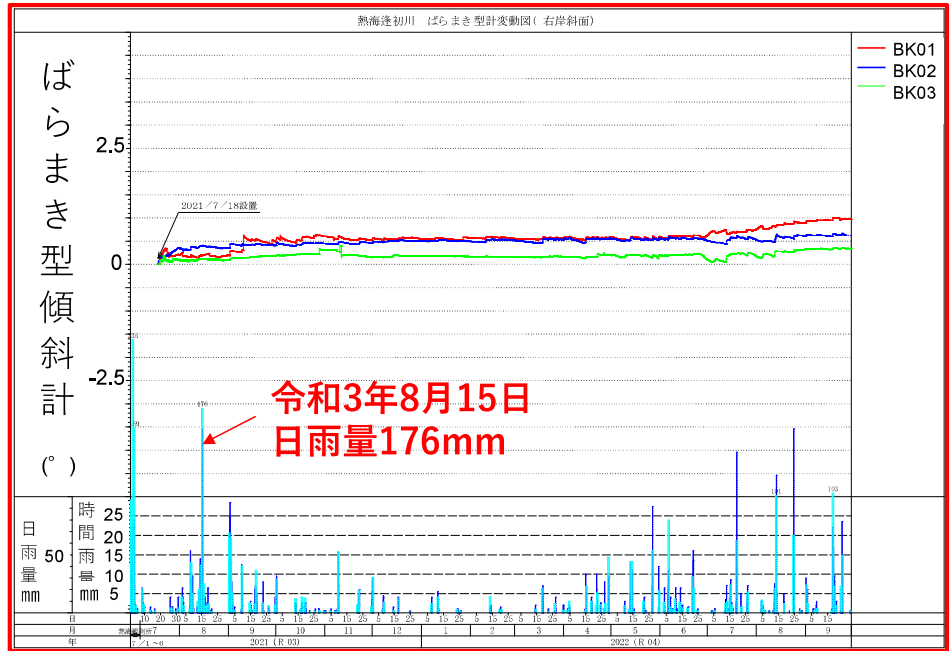
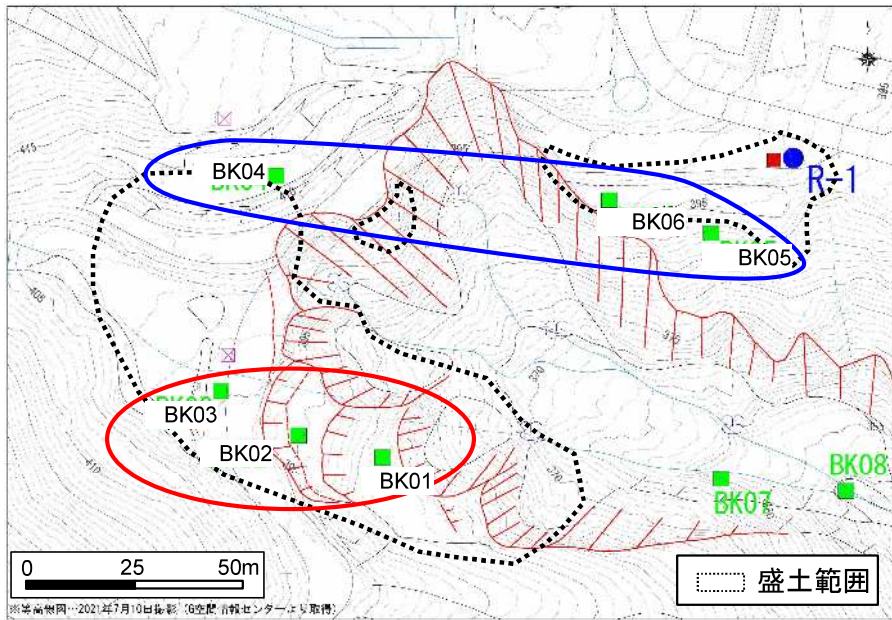


2021.8.15小崩壊発生時のNHKニュース画像

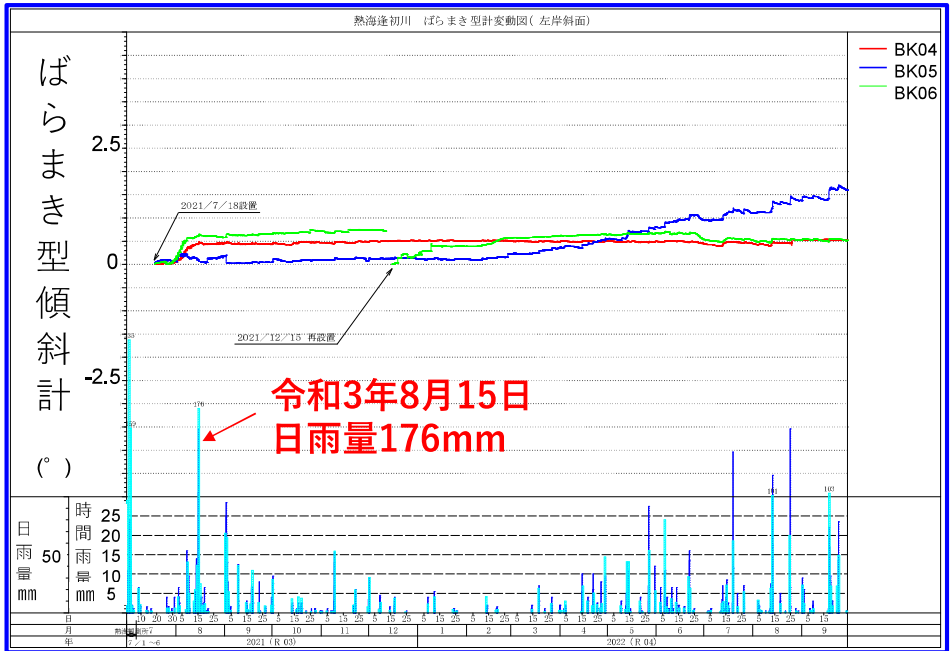


- 各計器ともに顕著な累積変動は認められなかった。
- S-1、3、4は、観測期間中の降雨時にもほとんど変動は認められなかった。
- S-2は、設置当初の地盤なじみによる圧縮変位や令和3年8月15降雨時の小崩落に伴い軽微な引張変位 (+0.5mm) などを捉えたものの、その後変動は収束した。

③傾斜計の変動状況



傾斜計変動図 (BK01,02,03)



傾斜計変動図 (BK04,05,06)

- 各計器ともに顕著な累積変動は認められなかった。
- 右岸側のBK01～03、中央BK04、左岸側BK06は、観測期間中の降雨時にもほとんど変動は認められなかった。
- 左岸側のBK05は、令和4年3月以降に微小な累積変動が認められた。ただし、他計器の変動はなく、周辺斜面の異常も確認されなかったため問題ない。